

いなべの農業

担い手さん

今、農業は転換期を迎えています。集落全体で農地や施設を守りながら、耕作等は営農組織や担い手に集約していく方向に進んでいます。そこで、今回から若手で認定農家として営農に励んでいる方を紹介します。

伊藤 貴美さん
(北勢町麻生田)



どれくらいの規模を経営していますか？

地元の麻生田を中心にコシヒカリやキヌヒカリなどの米を約30ha、小麦、大麦などの麦類を約20ha作っています。大型トラクター4台、コンバイン6条刈を2台、8条植えの田植機を1台、乾燥等をするライスセンターを備えています。



大型機械で効率よく

心掛けていること、工夫していることなどは？

そうですね、やっぱり作物の品質を第一に考えています。いいものをたくさん作って、おいしいお米をみなさんに食べてもらいたいです。あとは、いかに効率よく作業を行なうか、省力化ができるところは極力行い、無駄をなくせるようがんばっています。

大変なことは？

作業する時期が集中していますので、農繁期はとても忙しいことです。その時は家族はもちろん、近くの人に手伝ってもらうんですが、なかなか人が見つかりません。

今後はどのようにしていきますか？

基本的には現状を維持していくつもりですが、少しずつは規模を大きくしていきたいです。また、冬場の土づくりにも力を入れ、有機肥料などを使用して品質のいいものを作りたいです。



家族に手伝ってもらいながら

☎ 藤原庁舎 農林商工課 T 46-6306 F 46-6319

編集後記

特集「安心」がキーワードで、妊娠・出産・育児について取り上げました。とかく妊娠期や出産後は家に閉じこもりがちになり、不安を抱えてしまって…なんてことはありませんか？でもご安心ください。市では、相談・教室・訪問など一人ひとりに合ったきめ細かなサービスを提供しています。また、どの教室も小人数なのですぐにママさん同士打ち解け、スタッフにも気軽に声をかける姿がありました。とてもいい雰囲気ですので、気軽に足を運んでみてくださいね。シリーズ2は乳幼児の健やかな発達を願う(仮称)です。ご期待ください。

いなべいきいきマイタウン

▶未来へつなごう！環境カウンセラー 出口省吾さん (北勢町在住 員弁中学校教諭 49歳)

今月号から連載の「持続可能な社会づくりのために」を執筆する出口さんは、「環境カウンセラー」「森林インストラクター」「自然観察指導員」など環境に関する資格を持つ方です。大安中学校では「テクニカルボランティア部」を立ち上げ、現在では「環境学習サークルみえ」代表、「自然観察指導員三重連絡会」副会長を務め、三重県内外で環境保全活動や環境教育を精力的に行っています。「少しでも地球環境問題に関心を持ってもらい、行動につなげてもらえば…」と話す出口さんの連載をみなさんもぜひご覧ください。



情報提供 生活環境課



生活情報「まいめる」
QRコード

モバイルサイト
QRコード▶



発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821
編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成19年6月1日発行 Vol.43

※古紙配合率100%再生紙を使用

